



皆さんこんにちは、神戸市会議員の山下てんせいです。
今回は 9 月市会及び 12 月市会の報告をさせていただきます。今市会においては、新聞でも報じられた
ヤミ専従問題に端を発した不適正な勤務体制について、第三者調査委員会が設置され、その調査報告を
11 月に受けると言う市長の発表を受け、平成 29 年度決算は前代未聞の継続審議となっております。
今回はその経過も含め皆様にお伝えします。

2018 年 12 月吉日 自由民主党神戸市会議員団 山下 てんせい

自由民主党神戸市会議員団は、チェックオフ廃止条例案を提出しました

自由民主党神戸市会議員団は、総務財政委員会および決算特別委員会の審査を通し、市職労
が新規採用職員研修後の会場を利用して組合勧誘活動をしている実態と、その活動が職員の
自由意志に基づく加入を阻害している可能性を問題視しています。

また**給与から組合費を天引きする制度（チェックオフ）**を廃止する事で、市職労に対する便宜供与
により、馴れ合いが生じている不健全な労使関係を正し、市政に対する市民の信頼を得ること
になるという考えのもと、10 月 25 日に議員提出第 38 号議案「神戸市職員の給与に関する
条例の一部を改正する条例案を提出しました。

なお**本提案は、いわゆる組合貴族と、当局との癒着構造を正す事が目的であり、組合自体を否定
しているものではない**事を強調させていただきます。

11 月 30 日の総務財政委員会において、本提案について白熱した議論が展開され、更なる協議
の時間が必要との見解から継続審議となりました。

前代未聞の決算継続審議に至った経過について

9 月 4 日 神戸新聞が**ヤミ専従問題**を報道し、翌日神戸市はヤミ専従についての「第三者調査委員会」
設置及び調査を行う旨発表した。

～常任委員会～

9 月 19 日 都市防災委員会にて、**山下てんせい**が本件関連質疑を行い、**現市労組委員長が週 1～2 回しか
在席しておらず、それも短時間であったことが発覚した**。これを受け経済港湾委員会においても上畠議員
が本件関連質疑を行う。

9 月 20 日 総務財政委員会にて安達議員他が本件関連質疑した。

ここまでで**市職労委員長ほか職員団体の本部役員が勤務実態と異なる不正な給与過払いがある疑惑**が浮上
する。

～決算特別委員会～

第一分科会を中心に多くの議員が本件関連質疑を行う。その経過において、退職した元市職労委員長が
神戸市共助組合に再就職した際、個室を与えられ、局長級を含めた市の幹部が出入りしている疑いが浮上した。
また**新人研修初日に市職労委員長の講義と組合勧誘がほぼ一体化した研修が行われていたことが明らかにな
る**。また組合本部役員が出ている課には過員が付くという定数交渉も常態化していたことが発覚した。

10 月 4 日 神戸市が **12 人に約 5000 万円の退職金を過払いしていた**こと、平成 9 年に作成された算定
期間についての労使合意文書が職員部給与課で見つかったことを発表。

10 月 12 日 決算特別委員会総括質疑が行われ、市長より

**第三者委員会に会期中の中間報告を求め議会報告する方針
が表明される。**

10 月 15 日 決算特別委員会意見表明が行われ、自民、公明
こうべ市民連合ほかが決算議決先送り。維新、共産、新社会
ほかの一部不認定を表明。共創国民民主は認定。

10 月 16 日 決算特別委員会意見決定が行われ、賛成多数で

10 月 25 日予定の決算議決先送りとなる。



～その後の審議について～

10 月 25 日 本会議終了後に決算特別委員会が開催され、追加の審査日程を決定。

11 月 26 日 市会運営委員会室にて理事会、当局からの報告を受ける。なおこの理事会においては、非交
渉会派や無所属議員の傍聴が認められています。

ヤミ専従についての第三者調査委員会は、11 月 22 日の中間報告において、勤務時間における離席率を
公表しており、調査した 34 人中 13 人が勤務時間の半分以上を離席していたと公表しています。

12 月 3 日 決算特別委員会にて、不適正支出に関する報告事項に対して質疑。

12 月 4 日 改めて意見表明を行い、翌 5 日に賛成多数で決算が認定されました。

平成 29 年度 決算特別委員会審査において、質疑を行いました。

[行財政局] 9 月 27 日 全 3 問

Q・円滑な避難所開設、運営について

山下てんせい

「避難所開設・運営は、原則として区長の指示により、区の総務部が指揮をとっているが、訓練不足を露呈したお叱りの声を頂いている。そこで日頃からの自主訓練や地域、他部局と一緒に行動していく必要があると思いますがいかがでしょうか」

行財政局 遠藤局長

「区役所においては総務部長が防災担当部長、総務部が防災に対して軸となる位置付けである。**区の主催は当然のことながら、地域が主催する防災訓練について、区の職員もできるだけ参加し、地域の状況を把握しながら、災害発生時の対応力強化に繋げていく必要があると考える。**行財政局からもそのように各区に働きかけていきたいと思う」



▲3 月 21 日春日台避難訓練にて

[企画調整局] 9 月 28 日 全 7 問

Q・神戸のまちの魅力創造について

山下てんせい

「神戸 2020 ビジョンでは、若者を引きつける魅力作りを基本的方向の一つとして掲げている。これまでの進捗はいかがでしょう」

企画調整局 谷口局長

「新たな魅力創造の具体策として、奨学金返済支援や、都市型創造産業統括プロデューサーの活用による産業集積などを進めてきた。また内外への発信はプロジェクトチームを組みながら、また市民・民間事業者や専門家などたくさんの方々の参画を得ながら進めていく」

山下てんせい

「若者を引きつけられる地力について。**神戸で住む上で困っている視点もまた大切だと思います。**例えば安くて栄養のあるものが食べられる食堂など、**若者に寄り添った住みやすさという魅力作り**はかんがえられないでしょうか」

企画調整局 谷口局長

「若者が何で困っているかということをつかんだ上で、人を集めていく具体的な仕掛けやアイデアは考えるべきであると思う」

[市民参画推進局] 10 月 5 日 全 3 問

Q・「フルートの街神戸」の浸透について

山下てんせい

「フルートのまち・音楽のまちについては是非提案したいことだがフルートの音色を街中で聴くことが少ないと感じます。そこで **BGM としてフルートの音を採用する等は考えられないでしょうか**」

宮道文化交流部長

「**駅やまちなかでの BGM を流すことは可能である**と考えるので市民のみならず観光客の利用する交通機関や商店街などにおいてフルートやジャズを BGM としてうまく使えるように考えていきたい」

なお、こののち 11 月 14 日に文化交流課より「市営駐車場の **BGM でフルートのまち神戸を PR します!**」の報せが入り、わずか 1 か月で実現しました。



10 月 26 日 一般質問にて登壇し、質疑を行いました。

Q・都市空間向上計画について

山下てんせい

「『山麓・郊外居住区域』にあたる住民からは、地価の下落等による財産への影響を不安視する声も聞いている。**郊外の住宅地の活性化策を計画とセットで打ち出していくべきではないでしょうか**」

岡口副市長

「ご指摘の通り、市民の皆様が不安を抱かないよう『山麓・郊外居住区域』においてどのような施策に取り組んでいくのかを計画で示す事が重要である。方向性としては 6 つの柱を示しており、【良好な既存ストックの活用】空家のリノベーション、**オフィスや子育て支援機能、福祉機能などを導入する。**【生活関連サービスの確保】保育所など**生活に必要な身近な施設を適切に配置、または施設へのアクセスを確保する。**【市街化調整区域との連携】西区や北区のように都市近郊に豊かな農村地域がある特徴を活かした、**職住近接や地産地消などの取り組みを進める**など、人口が減少する中でも良好な住環境を形成していく事が目的である」

Q・ベジタリアンに優しい神戸に向けて

山下てんせい

「訪日外国人の中には、ベジタリアンやビーガン（卵や乳製品も禁じている）など、宗教や思想上の観点から食事の制約がある方も多くいらっしゃいます。日本は彼らにとって決して優しいとはいえない。更なる訪日外国人観光客誘致のために、**食の多様性への対応は必須と考える**がいかがでしょうか」

岡口副市長

「ベジタリアンの対応については、例えば人口の三割がベジタリアンと言われているインドでは、食品安全基準管理局がベジタリアンマーク表示制度を設け、マークの表示のない食品については輸入もできない状況であると承知している。**日本においてはこのような認証マークはあまり認知されていないが市としてどのような事ができるか、食品事業者や飲食店等の声をお聞きしながら研究していきたいと考えている**」

Q・西神中央駅、学園都市駅へのデジタル案内板の整備について

山下てんせい

「西神中央駅や学園都市駅は、神戸市北西部の交通結節点として多くのバス利用者がいるが、**バス案内板は老朽化が進んでいる。**デジタル案内板を整備し、従来のバス案内だけではなく、運行状況や来街者への周辺地域の情報、広告を発信することで、利用者の利便性向上や駅周辺の活性化が期待されると考えるがいかがでしょうか」

久元市長

「バス事業者と「神戸市路線バス利用促進協議会」において、年 3 回程度バス利用者の利便性向上に繋がる取り組みについて協議を行なっている。その中で、**デジタル案内板等の更なる機能向上を目的に、バスの遅れなどの運行情報をリアルタイムに利用者に提供するシステム改良の検討を行っている。**費用や維持管理などの課題もあるが、出来るだけ早い時期にデジタル案内板の設置に向けて取り組んでいきたい」

市会西区 山下てんせいの活動は

facebook

またはホームページにてご覧ください。

山下てんせい

検索

会派 HP <http://www.jimin-kobe.com/>